



国土交通省
近畿地方整備局

「物流」、「防災」、「環境」のプロフェッショナル
「港湾空港部」のミッション



港のカッターレース



港の写生大会

海に囲まれた島国「日本」
「みなと」が支える
豊かな暮らし！



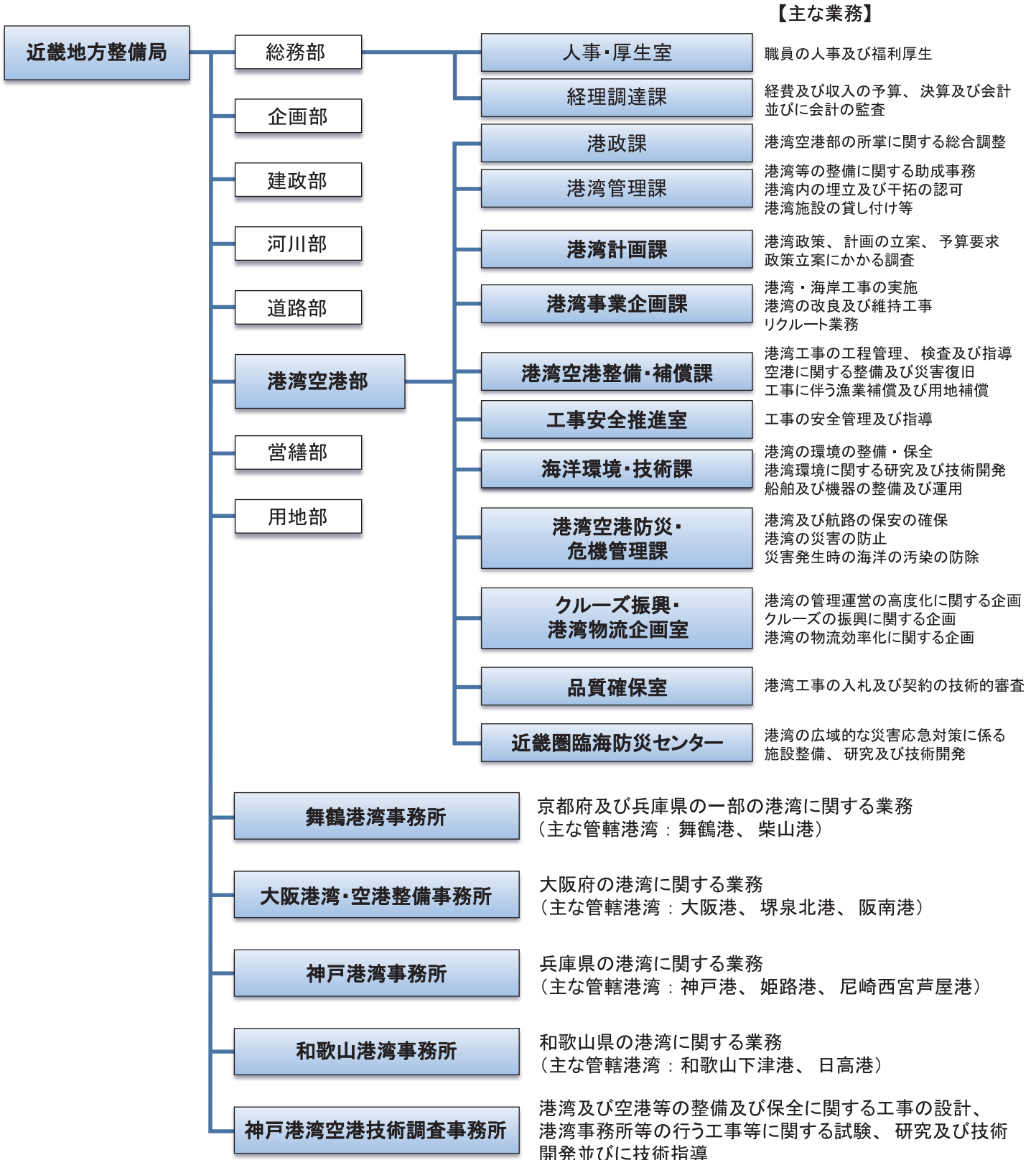
クルーズ船の入港

日本地図を書き換えることができる仕事！





近畿地方整備局港湾空港関係の組織



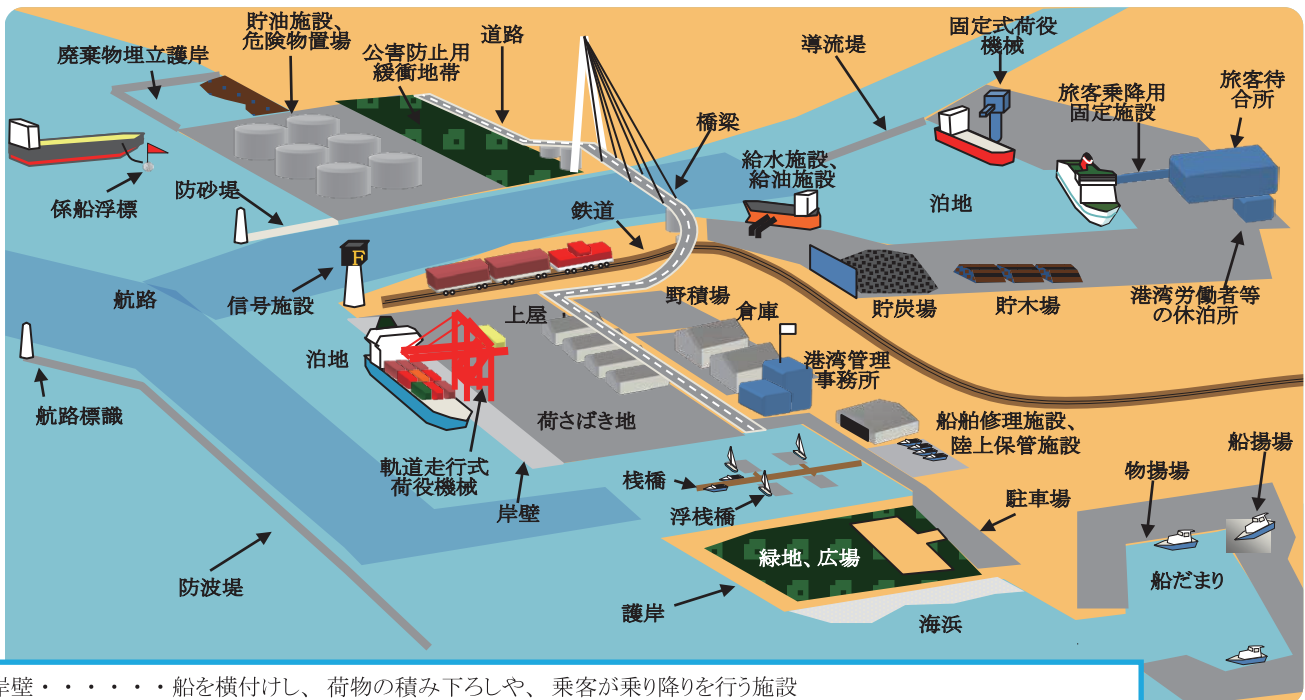
・太字は技術系職員の配属先

港湾とは！



港湾計画課
佐々木 利章（平成12年入省）

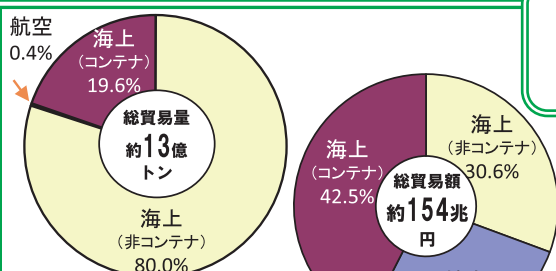
港湾はいろいろな施設(岸壁、航路、泊地、防波堤、道路、橋など)が連携し、その機能を発揮するため、港湾空港部では、各施設の整備及び適切な維持管理、老朽化対策並びにソフト施策を全国的、国際的な観点で進めることで、物流機能の強化を図り日本の国際競争力強化に努めています。



- 岸壁・・・船を横付けし、荷物の積み下ろしや、乗客が乗り降りを行う施設
- 防波堤・・・船から安全に荷物を積み下ろしするために、港内への波の進入を防ぎ、港の中を静穏にする施設
- 航路・・・船の通り道。水深の浅い港では、大きな船が入港できるように海底を掘り（浚渫）下げます。
- 荷役機械・・・荷物を積み下ろしする機械。コンテナ埠頭にはガントリークレーンが設置され作業時間の短縮に寄与しています。

港湾の役割と現状

(我が国の貿易量・貿易額の構成比)



出典
 ・総貿易量：港湾統計(2015年)
 ・総貿易額：貿易統計(2015年)
 ・海上コンテナ・海上非コンテナ比率：港湾統計(2015年)
 ・航空・海上比率：貿易統計をもとに国土交通省港湾局作成(2015年)

日本の貿易量の
99.6%
は港を通じた海上輸送



港湾事業企画課 事業第一係
竹村 知子（平成12年入省）

日本は周りが海に囲まれた島国であるため、資源や穀物、身の回りの製品等の多くを輸入に頼っています。船による輸送は、一度に多くのものを運ぶことができるため、貿易量の99.6%は港を通じた海上輸送です。私たちは港の施設整備を通じて人々の暮らしを支えています。

港湾空港部の主な取り組み

【経済・地域の活性化】

○地域経済を支える港湾機能の強化と、クルーズ振興を通じた地域の活性化のために



クルーズ振興・港湾物流企画室
国際物流係
桑田 光明（平成28年入省）

物流の効率化に直結する港湾機能を強化することにより、産業(企業)の立地・投資環境を向上させ、住民生活、企業活動に必要な物資を安く安定的に確保することで、企業の競争力を高め、雇用及び所得を創出、確保します。

また、近年増加しているクルーズ船の寄港による地域振興に向けた取り組みも支援しています。

【一言メッセージ】

国際コンテナ戦略港湾「阪神港」の活用を図り、国際物流の効率化を通じた関西経済の活性化を目指す国際物流戦略チームを担当しています。港湾の持つダイナミズムを日々強く感じる業務にやりがいを感じています。

【国民の安全・安心の確保】

○南海トラフ大地震による大規模災害への対策や港湾物流セキュリティを確保します



港湾計画課 海岸・環境係
津田 耕佑（平成30年入省）

地震・津波・高潮など大規模災害発災時に、港湾物流や市民生活が機能不全に陥らないよう、港湾や海岸の津波・高潮対策整備を進めています。また、港湾物流のセキュリティを確保するため、港湾の保安対策を強化し、国際社会への貢献と日本の国益・安心を確保します。

【一言メッセージ】

地震・津波や台風などの自然災害に対する防災対策の推進が喫緊の課題となるなか、管内各地域の特色に応じた対策を推進する業務を担当しています。国民の生命と財産を守ることに直結する仕事に責任とやりがいを感じながら業務に取り組んでいます。

【環境・潤いの創出】

○美しく親しみやすい豊かな「魚庭(なにわ)の海」を目指して



神戸港湾空港技術調査事務所
環境課
藤田 涼平（平成28年入省）

古くから産業・貿易・漁業の場として利用されてきた大阪湾。高度経済成長期による埋め立てにより、物流・産業機能が強化され日本経済を支えてきましたが、同時に海の生き物生息環境も悪化してきました。かつての豊かな大阪湾を目指して、広域的な連携による大阪湾海域環境の改善、親水性のある海岸環境の整備に取り組んでいます。

【一言メッセージ】

事務所が海に面した場所にあり、潮の香りを感じて仕事をしています。この豊かな大阪湾にもっと親しみをもってもらえるべく、住民や市民団体、学識者、企業等と連携・協働し「大阪湾の再生」に取り組んでいます。

【経済・地域の活性化】

経済社会の活力の基盤、港湾機能(物流)を強化

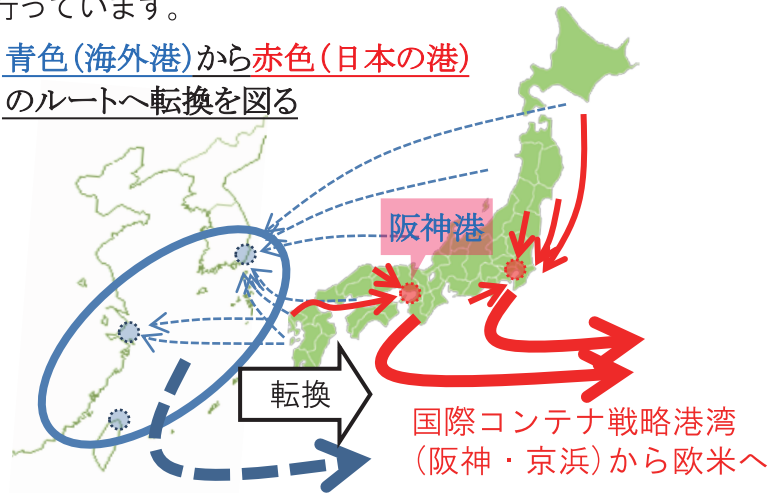


港湾計画課 企画係
藤原 楓 (平成29年入省)

港湾空港部では、海外の港経由で運ばれている日本の貨物を日本の港に戻し、日本と欧米を直接結ぶ国際航路を維持・拡大して、企業の国際競争力強化を図るため、阪神港(大阪港、神戸港)及び京浜港を「国際コンテナ戦略港湾」に指定しています。

具体的な政策として、巨大コンテナ船が寄港できる大水深コンテナターミナルや大型クレーンの整備、高機能倉庫の建設支援等を行っています。

青色(海外港)から赤色(日本の港)のルートへ転換を図る



神戸港六甲アイランド地区RC7 コンテナ積み降ろし状況

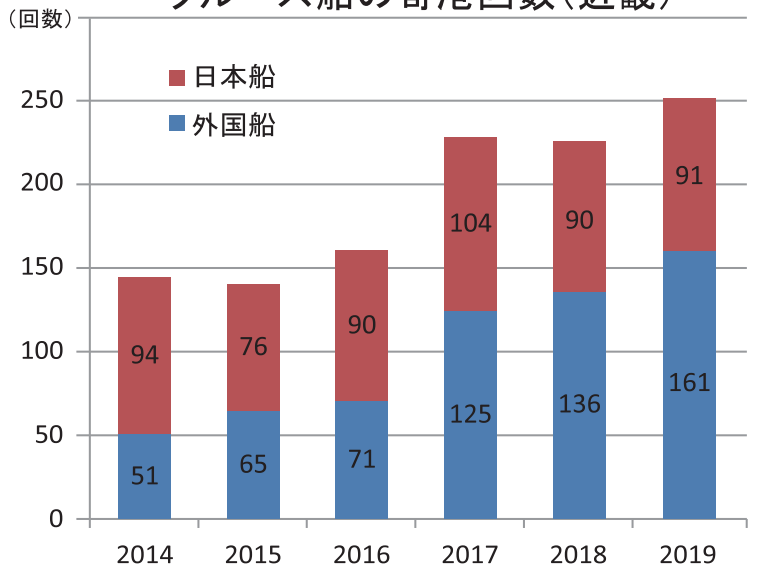
クルーズ船の寄港を活かした地域の創生



港湾計画課 調査係
伊藤 壽那 (令和元年入省)

近畿地方において急増するクルーズ船の寄港ニーズに対応するため、国際クルーズ船に対応した岸壁の整備や、瀬戸内海クルーズ周遊ルートの開拓をすすめ、クルーズ船の寄港を活かした地域の創生を図ります。

クルーズ船の寄港回数(近畿)

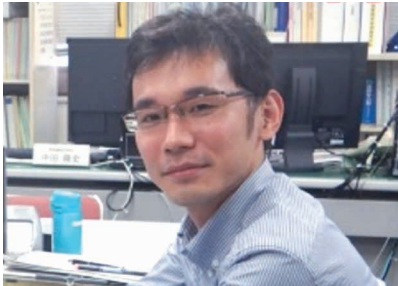


神戸港第四突堤

クイーン・エリザベス

【国民の安全・安心の確保】

国民の安全・安心な生活空間を守る（基幹的広域防災拠点の管理・運営）



港湾空港防災・危機管理課
吉田 昌央（平成20年入省）

大規模地震などによる災害発生直後に、国、自治体、自衛隊などが相互連携し、広域的な災害対策活動を行うための「基幹的広域防災拠点」の管理・運営をしています。発災時には、緊急支援物資、人員の受入、被災地へ輸送を行う本部としての機能を発揮します。



基幹的広域防災拠点
（近畿圏臨海防災センター）



防災訓練でバックホウを操作する港湾空港部の職員

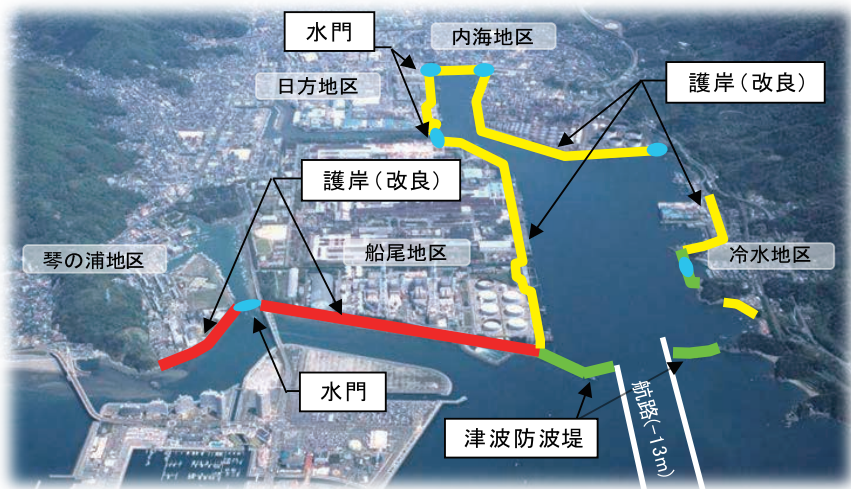
和歌山下津港海岸（海南地区） 津波対策事業



和歌山港湾事務所 海岸課
清水 恭平（平成30年入省）

和歌山下津港海南地区の背後地域には、行政・防災中枢機能や世界的な製造企業群が集積しているため、南海トラフ地震による津波来襲時には深刻な被害の発生が危惧されています。

このため護岸、津波防波堤、水門を組合わせた施設整備による津波浸水被害の軽減を図る津波対策事業を進めています。



和歌山下津港海南地区（和歌山県和歌山市）



護岸改良

【環境・潤いの創出】

人と地球に優しく潤いある空間の創出



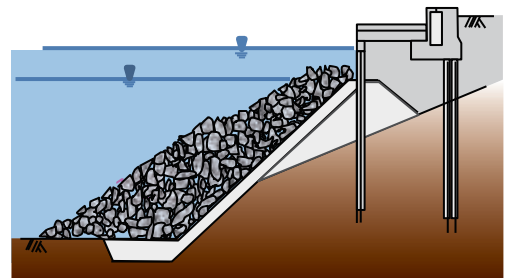
大阪港湾・空港整備事務所
企画調整課
川中 智加（平成21年入省）

大阪湾では、「海域生物の生息に重要な場の再生」を目標の一つに、大阪湾再生に取り組んでいます。

海岸を守る護岸や防波堤などは、壁を垂直に整備することが多く、砂浜や岩礁と比べ、干満帯に生息する生物の定着が困難なことから、護岸などの老朽化対策や耐震性向上と合わせ、環境改善機能を付加する事業に取り組んでいます。具体的には堺泉北港の堺2区で生物共生型護岸を整備し、水質、底質、海生生物等のモニタリング調査を進め、生物生息環境の改善と技術開発、知見の蓄積を進めています。



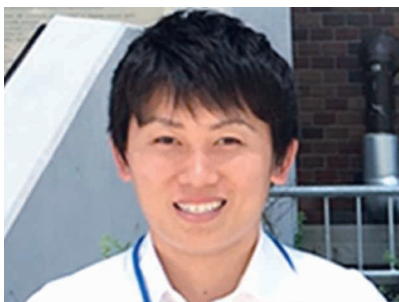
既設護岸



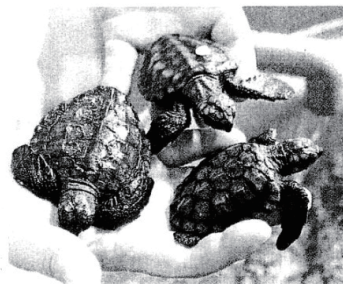
緩傾斜護岸、魚礁ブロックタイプ護岸などを整備して、生物生息環境を改善します

船舶の航行安全の確保と、海域環境を守るため、東京湾、伊勢湾、瀬戸内海などの閉鎖性海域に、海面に漂流する流木等のゴミや船舶等から流出した油を回収する海洋環境整備船を配備しています。

近畿では神戸港湾事務所所属の2隻と和歌山港湾事務所所属の1隻の計3隻が活動しています。



和歌山港湾事務所
海洋環境・防災課
久野 貴之（平成27年入省）



神戸
神戸沖で大阪湾北部海域で回収された浮遊ゴミの中から、今夏お盆にアカウミガメ計2匹が保護され、19日、神戸市須磨区岩宮町1の市立

大阪湾で保護、須磨水族園で数匹ずつ公開
来月14日まで

須磨海水族園で初めて公開された。同海域でウミガメがまわって見つかることが珍しいという。
ウミガメは4、18日の間、大阪湾で行われた流木や一般ゴミの回収で見つかり、海ガメの飼育研究で知られる同園に持ち込まれた。
2年前にも浮遊ゴミの回収でウミガメが見つかった例があるが、大阪湾周辺では8、10月ごろにふ化し、いち早く太平洋に出るため、湾

国交省神戸港湾事務所が回収した浮遊ゴミの中から保護されたアカウミガメの1頭、須磨海水族園



港湾施設の設計、施設整備

日本地図を書き換えるビックプロジェクト



神戸港湾事務所 第二工務課
渡邊 耕記（平成29年入省）

港湾工事は、港湾施設の沖合展開により、大水深や超軟弱地対応など、新しい環境下の工事が増えています。これらに対応できるよう、新しい構造形式、新工法などの開発に積極的に取り組んでいます。また工事の実施にあたっては、港湾利用者やユーザーなど多くの関係者と調整し進める必要があります。国の事業は、日本地図を書き換えるビックプロジェクトが多くあり、技術者として醍醐味を感じることもできる仕事です。



①ケーソン製作



②海上地盤改良



③ケーソン据付



④コンテナターミナル完成

耐震診断システムの開発

地震に対する危険性が高い施設を「簡単に」、「早く」抽出！



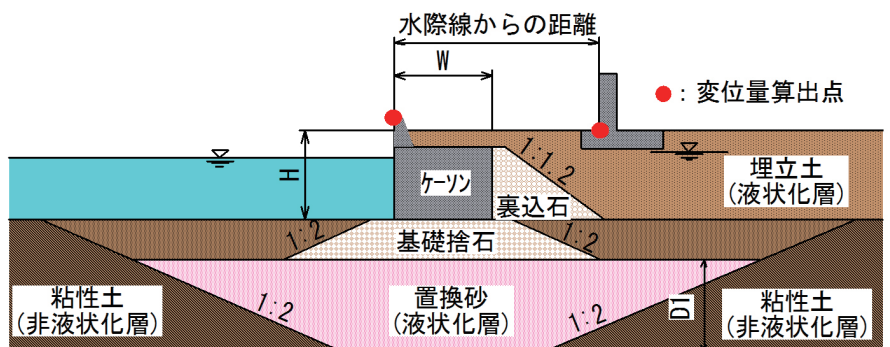
神戸港湾空港技術調査事務所
設計担当
富田 祐輔（平成20年入省）

平成15年の中央防災会議で、東海・東南海・南海の三連動地震が発表され、海岸保全施設、港湾施設の耐震性能を確認する必要が生じ、多くの自治体から、施設の耐震性能を簡易に確認できるシステム開発の要請が寄せられました。これを受け、近畿地方整備局 港湾空港部では概略データでも変位量が判定できる「チャート式耐震診断システム」を開発しました。

このシステムの開発により、地震に対する危険性が高い施設を「簡単に」「早く」抽出することが可能になりました。

現在は、平成23年3月の東日本大震災の知見を踏まえた新たな地震モデルのシステム開発を行い、精度向上に努めています。

重力式岸壁の診断イメージ



港湾施設整備の様子

陸上地盤改良工



荷さばき地耐震改良事業（液状化対策）
（神戸港）

神戸港は、大規模災害時に救援物資や人員を運ぶ拠点にもなります。地震時に施設の機能を維持させるため、液状化対策工事を行っています。



神戸港湾事務所 第二工務課
神足 美友（令和元年入省）



和歌山港湾事務所 保全課
市川 雅（平成28年入省）

和歌山県は南海トラフ地震により短時間での津波到達が予想されています。水門・護岸の整備や施設の粘り強い化により、日常生活に支障なく、津波から人々の命や財産を守ります。

琴ノ浦水門



津波対策事業（水門の整備）
（和歌山下津港）

大型国際クルーズ船への対応



国際旅客船埠頭整備事業
（舞鶴港）

舞鶴港は近畿圏の日本海側における海の玄関口として重要な役割を担っている港です。特に、京都観光の起点としても需要がある、国際クルーズ船に対応した施設整備を行っています。



舞鶴港湾事務所 沿岸防災対策室
小谷 宗（平成28年入省）



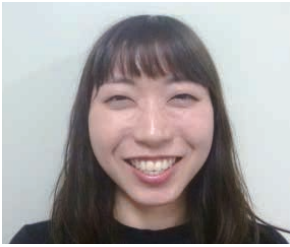
大阪港湾・空港整備事務所
第一建設管理官室
大住 俊揮（平成27年入省）

大阪港は経済・物流の中心機能を持っています。岸壁を整備することで、港を通じて多くの物資を運ぶことが可能になります。



ジャケット工法
耐震強化岸壁整備事業
（大阪港）

みなとトピックス：PIANC2019 が開催されました！



経理調達課 調達係
長尾 あいこ（平成29年入省）

港湾空港部では国際業務にも携わることができます。国際業務の一環として、2019年6月に開催されました PIANC2019に私も参加してきましたので、業務内容を紹介します。

PIANC2019とは、各国の港湾施設の現状や技術的課題などを議論する国際会議のことです。

【一言メッセージ】

英語を使い、世界各国の方々と触れ合うことができるのが魅力です。

技術セミナー

世界各国の代表者が行う自国の港湾開発についてのプレゼンを聴講することができます。各国の港湾の現状や開発事業などを勉強できます。



テクニカルツアー

世界中から来られている PIANC2019の参加者を京都に案内しました。英語を使い、京都の文化やお寺の魅力をお伝えします。



食事

食事の時間も PIANC参加者とお話ししながら食べます。おいしいご飯を食べながら、日本のアニメの話で盛り上がりました。



事業説明

日本のインフラ設備や技術力を紹介します。日本の技術力をPRする大事な場面です。



国際業務の取り組みについて

- ・国内業務を実施する上で、世界の動きを把握することが不可欠となってきました。そのため、港湾分野での国際業務の重要性が高まってきました。
- ・世界の港湾・海運の最新の動向を学ぶ機会を設け、国際業務に必要な知識及び能力を身に付ける場が数多くあります。
- ・職員の中には、大使館勤務や海外留学をされる方もいます。

海洋環境整備事業

海洋環境整備船によって海の環境を守っています！



海洋環境・技術課
田中 伶央也（平成28年入省）

海洋環境整備船とは、海のごみや油を回収し、海洋環境を改善するための船舶です。現在近畿では、大阪湾・播磨灘・紀伊水道の海域で「Dr. 海洋」「クリーンはりま」「海和歌丸」の3隻が活躍しています。その船の能力を最大限に発揮できるように毎年の点検修理、さらに老朽化に伴う代船建造など所有する船舶の整備に取り組んでいます。

また、南海トラフ地震に備えた津波浸水対策として和歌山下津港海岸の水門や陸閘などの機械・電気設備の整備にも携わっており、防災にも貢献しています。



船舶のエンジン点検



琴の浦水門の整備



船舶の建造

「AIターミナル」構想 ～ヒト×AI～

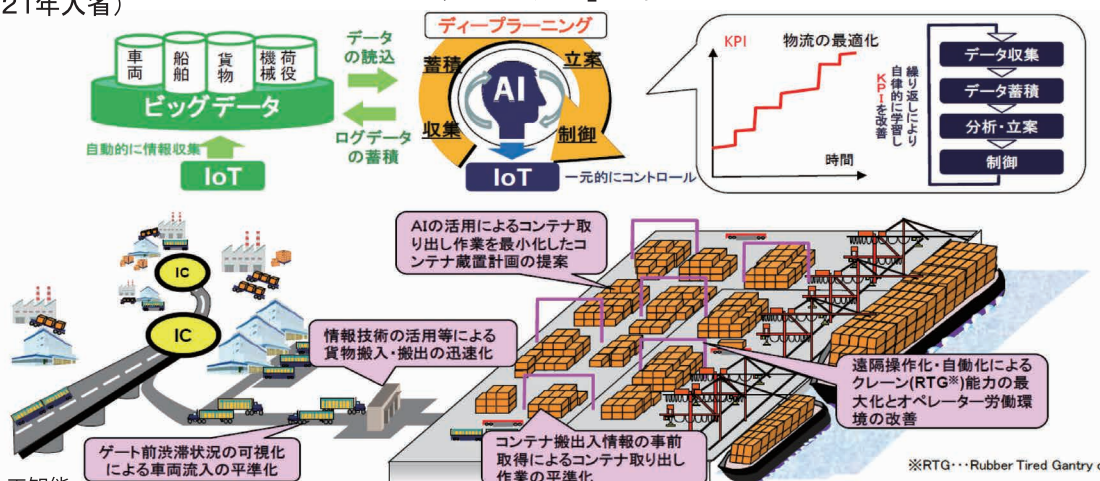
新技術の活用による物流革命



クルーズ振興・港湾物流企画室
坂 美瑞保（平成21年入省）

港湾空港部では、AIターミナルの実現にむけて大型コンテナ船の寄港の増加による荷役時間の長期化や、コンテナターミナルのゲート前渋滞の深刻化に対応するため、コンテナターミナルの生産性を飛躍的に向上させる必要があります。このため、「AIターミナル」実現に向けた各種取組をおこなっています。具体的には、遠隔操作化した荷役機械の導入やAI、IoTを使ったコンテナ蔵置場所の最適化システムなどの実証実験を行う等しています。

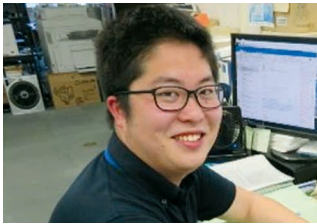
「AIターミナル」のイメージ



※RTG・・・Rubber Tired Gantry crane

※AI (artificial intelligence) : 人工知能
※IoT (Internet of Things) : モノのインターネット

新卒2年目職員から Message



港湾計画課
岩崎 嵩史（令和元年入省）

【担当業務】

私は採用後、港湾空港部港湾計画課に配属され、今年で2年目になります。業務は主に近畿管内の港湾における港湾計画（港湾法で規定される法定計画）を変更するために、港湾管理者である地方自治体の関係者と調整を進めています。

【豊富な研修】

私が、1年目の時は採用当初の研修に加え、月に1回程度、若手職員に向けた研修がありました。研修では現在担当している業務のほかにも、現場や予算のことなど、幅広く知識をつけることができます。通常業務では見ることができない事務所の現場工事を見ることができる研修もあり、様々な経験を積むことができます。

【仕事のやりがい】

大型のコンテナ船を寄港させる港や、クルーズ船を誘致する港など、各港それぞれに特色があり、その特色を活かす計画を検討するため、業務に関してはもちろん、港に関しても様々な発見があり、とてもやりがいを感じています。約10年後の港の姿を決定するための調整も行っているため、規模の大きな仕事ができるということが魅力のひとつです。

【学生へのメッセージ】

学生のうちは港湾について学ぶ機会が少なく、何の知識も持っていなかった私でも、港湾空港部に入省後は上司の方々に助けられながら、日々楽しく学んでいるところです。私たちの生活に欠かせない港に関わることが出来る事にやりがいを感じています。港の発展のために皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



神戸港湾空港技術調査事務所 技術開発課
高本 裕継（令和元年入省）

【担当業務】

私は現在、神戸港湾空港技術調査事務所の技術開発課に配属されています。ここでは主に岸壁や防波堤、空港の滑走路などの設計業務を担当し、現地状況に合わせた適切な設計ができるよう知識を深め、設計に活かすよう努めています。また、新技術（NETIS）の活用や普及に関する業務にも携わっています。

【職場の雰囲気】

わからないこともたくさんありますが、上司や先輩の方々が親身に教えてくださるので、日々安心して多くのことを学ぶことができます。また、お昼にはテーブルを囲い楽しくご飯を食べたり、休日にはカッターレースやマラソン、バドミントンなど様々なイベントがあり、仕事外でも多くの人との交流ができるなど、楽しく温かみのある職場です。

【仕事のやりがい】

研修で実際に現場をみたり、業務を進めていく中で、写真ではわからない、業務の規模や港湾構造物のスケールの大きさを実感しました。そんな大規模な業務に携われることや、コンテナターミナル1つの経済効果・護岸や水門の防災効果等、港湾や海岸の大切さを知れば知るほどやりがいのある仕事だと感じています。

【学生へのメッセージ】

業務に関する知識等は実務を経験することで得られるものがほとんどですので、興味、やる気があれば、成長していける良い環境だと思います。物流・防災などを基に地域の暮らしや経済を支える港を整備するために、一緒に仕事ができるのを楽しみにしています。

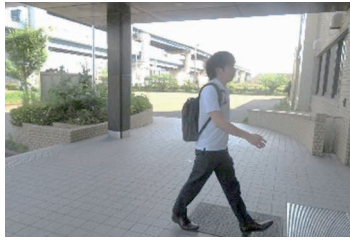
職員の1日

上田 静馬(神戸港湾事務所 第二建設管理官室 平成29年入省)

【一言メッセージ】 仕事で悩んだときなどは先輩方や同期に相談等をしやすい環境です。職場の雰囲気はとてよく、楽しく働くことができます。

8:20 出勤

朝は時間に余裕をもって出勤します。出勤後は始業に向けてデスク回りの整理等をします。



8:30 デスクワーク

初めに1日のスケジュールの確認を行います。業務の発注に関わる資料の作成や、午後からの打合せに向けて作業を行います。



12:00 昼食

天気の良い日は同期と気分転換に外でご飯を食べます。午後からの仕事に向けて力を蓄えます。



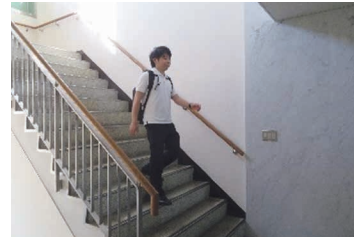
13:00 打合せ

自分が行っている作業の進捗状況の報告や相談を上司に行います。また、会議等で分からなかった部分を教えてもらいます。



17:15 退勤

スピード感をもって仕事を行い、できるだけ早く帰るよう心がけています。退勤後は趣味などの時間を十分に確保できるのも魅力の1つです。



18:00 仕事終わり

週末には、先輩方や同期とご飯を食べに行くこともあります。飲み会では仕事にはあまり話さない色々な話ができ、とても楽しいです。



仲岡 優(港湾事業企画課 平成28年入省)

【一言メッセージ】 土木の知識がない中で初めは不安な部分の方が多かったですが、職場には若手の職員や女性職員も多く、仕事の話はもちろん相談等色々な話もでき、楽しく仕事することができています。

8:30 出勤

朝は8:30から始業です。今は時差出勤を利用し、10:00からの始業にすることも出来ます。



8:30 デスクワーク

事務所から提出された資料を確認。必要な資料が提出されているか、内容に不備がないかを確認します。わからないところや資料に不足があれば上司の方に相談し、解決策を模索します。



発注に際し適切な予定価格を設定するのは責任も重く大変なことが多いですが、一つの案件が片付いたときの達成感は非常に大きいです。



12:00 昼食

職場の周りには、安くてお腹がいっぱいになるお店からおしゃれなお店などたくさんあります。お昼からの仕事に向け、力を蓄えます。



16:00 打合せ

作成した資料を上司の方に説明し意見を頂きます。鋭い指摘に、思わず言葉が詰まることも。そんな時には助け船を出して頂き、また一つ成長へとつながりました。



17:15 退勤

悩めることはほとんど悩んで、遅くまで仕事をする日もあります。今日は定時に切り上げ、同期会へ向かいます。



ワーク・ライフ・バランス

やりがいや充実感を感じながら働き、育児・介護の時間や、家庭、地域活動、自己啓発など自分の時間を持つ生活を実現するため、「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」の取組を積極的に進めています。

【事例紹介】

ある共働きの職員の1日(仕事と子育てを両立)

7:30
保育園の送り



子供の送りはお互いの忙しさを相談し、夫婦交替制で。

8:30
出勤



勤務開始時間は通常どおりに設定しています。

12:15
昼食



育児短時間勤務を利用し、拘束時間を短くするため昼の休憩時間を30分にしています。

16:15
退勤



終業時間を早めに設定。保育園のお迎えへ。

- 仕事と育児の両立を支援するために、様々な制度が用意されています。
- これらの制度は男女問わず、利用が可能です。

職場のイベント



神戸港湾事務所 企画調整課
山本 滯 (令和元年入省)

職場では、リレーマラソンやビーチバレーなど、様々なイベントがあります。

神戸港メリケンパークでは、毎年カッターレースが開催されており、近畿地整港湾空港部もチームを編成して出場しています。今年は残念ながら、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、開催中止となりましたが、来年度以降も出場する予定です。

毎年、職場から多数の人が応援に駆けつけてくれ、職場の一体感を感じることができます。

**来年は皆さんも是非、一緒に出場しましょう。
お待ちしております!!!**



研修

行政に求められるニーズは多岐に渡り、それらに適切に対応して行くためには、職員のスキルアップが必要となります。

近畿地方整備局港湾空港部では、入省後直ちに技術系職員として必要な専門知識を習得する建設技術研修や、現場の知識を学ぶ施工監督技術研修、設計研修、TEC-FORCE研修など、係員から管理職まで、レベルに合わせた様々な専門的研修が充実し、スキルアップに努めています。



施工監督研修で現場を学ぶ係員の様子

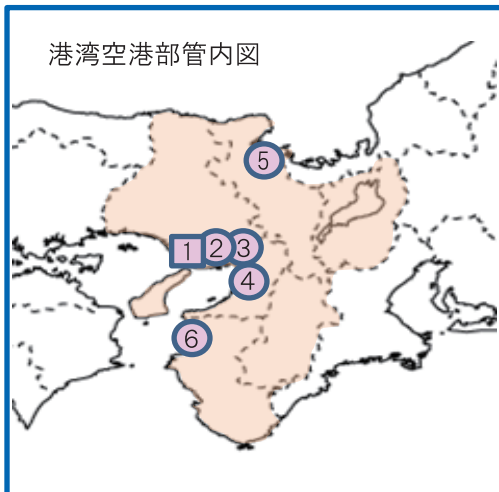
港湾空港部の勤務地、転勤

港湾空港部の勤務地は、近畿地方管内に6カ所あり、その内、阪神地区に4カ所 所在しています。採用前は、転勤に伴う引っ越しを心配される方も多いですが、阪神地区は交通網が発達していますので、引っ越しを伴う転勤は比較的少なく、自宅等から通っている方も多くいます。

家族で住める世帯用宿舎や、寮が各地にあり、希望すれば入居することができます。また自分で部屋を借りる方には住居手当が支給されます。(阪神地区の宿舎は神戸市、西宮市に所在)

転勤は2～3年に1度あります。様々な経験を積み、港湾行政のプロフェッショナルとして、多くのプロジェクトで活躍していただきたいと考えています。

①神戸本局



(通常の勤務地)

- ①神戸本局(神戸市中央区)
- ②神戸港湾事務所(神戸市中央区)
- ③神戸港湾空港技術調査事務所(〃)
- ④大阪港湾・空港整備事務所(大阪市港区)
- ⑤舞鶴港湾事務所(舞鶴市)
- ⑥和歌山港湾事務所(和歌山市)

- (希望があれば、勤務の可能性あり)
- ・本省 港湾局など(東京都千代田区)
 - ・国土技術政策総合研究所(横須賀)
 - ・港湾空港技術研究所(横須賀)
 - ・海外(留学、大使館勤務)



②神戸港湾事務所

③神戸港湾空港技術調査事務所

(港湾空港の問い合わせ先)

近畿地方整備局 港湾空港部

港湾事業企画課 朝木(あさき)・林(はやし)

TEL 078-391-4214

神戸市中央区海岸通29番地 神戸地方合同庁舎 5F

メール pa.kkr-hnk-port@mlit.go.jp

<http://www.pa.kkr.mlit.go.jp/>

<https://www.facebook.com/PHB.MLIT.Japan>



大阪港 天保山旅客船ターミナル



国土交通省 近畿地方整備局
港湾空港部
(神戸地方合同庁舎 5・6F)

大阪港夢洲 コンテナターミナル整備
現場確認(ジャケット据付状況)



大阪港

